

平成 30 年度

一般社団法人  
三重県介護支援専門員協会総会



平成 30 年 6 月 9 日 (土)

三重県社会福祉会館 講堂

# 三重県介護支援専門員協会

## 平成 30 年度 総会 次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 来賓挨拶
4. 議長選出
5. 書記及び議事録署名人の任命
6. 第 1 号議案  
平成 29 年度事業報告
7. 第 2 号議案  
平成 29 年度収支決算報告及び会計監査報告
8. 第 3 号議案  
平成 30 年度事業計画案
9. 第 4 号議案  
平成 30 年度収支予算案
10. 第 5 号議案  
監事の選任（交代）について
11. 報告事項
12. その他
13. 閉会の挨拶
14. 閉会の辞

## 平成29年度事業報告

### 1 平成29年度活動方針評価

#### 活動方針

- 1 平成29年度末に会費を納入している会員の数を1,150名以上確保する。そのために、引き続き各種研修会、特に現任者が受講する研修の機会に勧誘活動を行う。  
→平成29年度末で1,141名と目標には9名届かなかった。
- 2 平成30年度は介護報酬改定と診療報酬改定が重なる極めて重要な「同時改定」の年である。これらの情報発信をはじめ、下半期には改定される制度に対応する研修会を企画する予定である。また、他の職能団体との連携を図りながら研修会を企画する予定である。平成29年度も月1回程度の頻度で年度内に10回以上の研修会を企画・実施する予定である。詳細は「3研修事業」の通りである。  
→協会主催研修会を13回開催した。平成29年度も定員以上の申し込みを受けた研修会も多かった。内容は上記方針を踏まえ前年度を踏襲したものと幅広く設定した。詳細は後述「3研修事業」の通りである。
- 3 広報誌・リーフレット・ホームページ等の活用により、当協会又地域支部の存在意義や活動内容を紹介し、入会に向けたメリットを多くの介護支援専門員に知ってもらうことで、新規会員の更なる獲得と既会員の資質の向上に努める。介護支援専門員の専門性が問われている状況下で介護支援専門員を支援していくために様々な情報提供、必要な研修活動を知る媒体としての役割を目指していく。見る側の立場に立った内容を目指し構成していく。詳細は「4広報事業」の通りである。  
→事業計画通りの広報事業を実施した。詳細は後述「4広報事業」の通りである。
- 4 支部活動の推進と連携をより一層進める。また、支部運営に課題を抱える支部から支援を求められた場合には必要な支援を行う。支援に際しては県協会が中心となり、必要に応じて隣接する支部にも支援を要請する。  
→第8回研修会を伊賀市で開催し、伊賀支部と協同し支部の活性化を支援した。当該研修会には多くの伊賀支部会員が参加し、支部の雰囲気にも変化が生じたとの報告を受けた。また、日本介護支援専門員協会東海ブロック研修会では伊賀支部を通じ伊賀支部所属の会員と当協会が連携して実践についての報告を行った。
- 5 意見交換会や各種研修会等を通じ、三重県の関係部署や関係諸団体との連携を深める。特に、三重県長寿介護課及び福祉監査課とは継続的に意見交換の場を持ち、一層の連携を図る。これにより、行政に県下の介護支援専門員の実態についての理解促進を図る。  
→三重県健康福祉部長寿介護課とは、介護支援専門員専門研修について継続的に意見交換を行っている。また、福祉監査課との協議を踏まえ、三重県が実施する集団指導において協会長が講義を行った。三重県理学療法士会、三重県医療ソーシャル

ワーカー協会とは研修会を共同開催し、三重県作業療法士会、三重県薬剤師会からは講師派遣を受けた。

- 6 三重県、三重県社会福祉協議会と連携し、介護支援専門員資質向上研修専門研修課程Ⅰ・Ⅱの一部を担当する。それにより、職能団体としての責務を果たし、さらに、当協会の社会的認知を向上させ、当協会に未加入の介護支援専門員に対し協会の存在意義の理解促進を図る。  
→計画通り専門研修課程Ⅰ・Ⅱを受託し、研修企画及び講師派遣を行った。研修時には当協会の活動や意義についても周知を行った。講師派遣の詳細は後述の「5 総務事業」の通りである。
- 7 引き続き、三重県に対して、スーパーバイザー派遣事業の補助金申請を行い、事業を実施する。平成28年度の実績を踏まえ、さらに周知・募集の方法を工夫する。  
→事業計画通りの事業を実施した。派遣についての詳細は後述「5 総務事業」の通りである。
- 8 防災部会の設置に向けての体制づくりを開始する。そのために、県内各地の防災に関する情報（防災計画や防災訓練、防災に関する情報連携、協力体制、福祉避難所等）の収集を行う。同時に、当協会防災部会設置のための人材の育成も行い、県内で災害が発生した際に協会として対応ができる仕組みを数年以内に整える足掛かりとする。将来的には県内ののみならず、他都道府県で災害が発生した際に当協会として人員を派遣できることも目指す。  
→事業計画通りの事業を実施した。詳細は後述「5 総務事業」の通りである。

## 2 会議

### 1 総会

平成29年6月11日（日）

三重県社会福祉会館講堂

平成28年度年度事業・収支決算報告及び監査報告について

平成29年度事業計画・収支予算案について

役員選任について

記念講演 ケアマネジャーのリハビリテーション活用術～基礎から実践まで～

講師： 園田 茂氏（藤田保健衛生大学 七栗記念病院 院長）

### 2 理事会及び理事・支部長会

第1回理事会 平成29年4月12日（水）

平成29年度総会について

事業報告・計画案について

役員改選について

会費の回収状況・会員の動向について

専門研修について

第1回理事・支部長会 平成29年5月17日（水）

事業報告・計画案について  
収支決算・予算案について  
役員改選について  
各支部の活動状況について  
会費の回収状況・会員の動向について  
支部助成金・研修補助金について  
その他

第2回理事会 平成29年7月12日（水）

平成29年度の運営について  
日本協会の動向について  
各部会について  
会費の回収状況・会員の動向について  
日本協会総会の報告について  
その他

第2回理事・支部長会 平成29年9月11日（月）

日本協会の動向について  
各支部の活動状況について  
各部会事業の進捗状況について  
会費の回収状況と会員の動向について  
その他

第3回理事会 平成29年11月15日（水）

ケアマネ総合相談 スーパーバイザ一派遣事業について  
東海ブロック会議について  
各部会事業の進捗状況について  
講師料等支払規程の見直しについて  
会費の回収状況と会員の動向について  
費用弁償規程について  
その他

第4回理事会 平成30年1月17日（水）

東海ブロック研修会 報告  
各部会事業の進捗状況について  
平成30年度総会 基調講演 その他会議について  
会費の回収状況・会員の動向について  
その他

第5回理事会 平成30年3月15日（木）

平成30年度総会について

平成29年度事業報告  
平成30年度事業計画  
会費の回収状況・会員の動向について  
その他

### 3 正副会長及び部会担当者会

研修部会 2回  
広報部会 3回  
総務部会 3回  
正副会長会 8回

※各部会上記以外にEメールを使って打ち合わせを行っている。

### 4 各種会議・委員会への出席及び関係機関との連携

主に会長出席等

平成29年

4月16日	三重県薬剤師会新館落成式
4月25日	三重県健康福祉部福祉監査課打合せ会議
5月13日	三重県社会福祉士会総会記念講演会・交流会
5月15日	三重県健康福祉部福祉監査課打合せ会議
5月19日	日本介護支援専門員協会理事会
6月 1日	三重県介護支援専門員協会伊賀支部との意見交換会
6月15日	三重県集団指導（北勢地域）講義
6月19日	三重県社会福祉協議会評議委員会 介護支援専門員研修企画検討委員会
6月21日	三重県集団指導（中勢地域）講義
6月25日	日本介護支援専門員協会総会
6月26日	三重県集団指導（南勢志摩地域）講義
7月 4日	三重県在宅医療推進懇話会
7月 5日	三重県脳卒中医療福祉連携懇話会
7月18日	志摩市介護支援専門員研修会講義
8月 3日	三重県在宅医療推進懇話会
8月 8日	三重県社会福祉審議会高齢者専門分科会
8月30日	介護支援専門員研修企画検討委員会（実務研修）
8月31日	三重県地域医療介護総合確保懇話会
10月 2日	三重県在宅医療推進懇話会
10月 5日	三重県脳卒中医療福祉連携懇話会
10月11日	介護支援専門員研修企画検討委員会（実務研修）
10月11日	三重県看護協会研修会講義
11月10日	三重県社会福祉審議会高齢者専門分科会
11月27日	三重県脳卒中医療福祉連携懇話会
11月29日	三重県在宅医療推進懇話会

12月19日 三重県社会福祉協議会評議委員会  
12月25日 介護支援専門員研修企画検討委員会（実務研修）

平成30年

1月 4日 三重県健康福祉部総務課打ち合せ会議（防災対策）  
1月 9日 三重県健康福祉部長寿介護課打ち合せ会議（市町への指定権限移譲）  
2月 9日 三重県社会福祉審議会高齢者福祉専門部会  
2月16日 日本介護支援専門員協会都道府県支部長会議  
2月19日 三重県脳卒中医療福祉連携懇話会  
2月20日 三重県在宅医療推進懇話会  
2月26日 災害時における福祉支援ネットワーク協議会  
3月 6日 松阪地域医療構想調整会議  
3月13日 三重県地域医療介護総合確保懇話会  
3月20日 三重県脳卒中医療福祉連携懇話会  
3月28日 三重県社会福祉協議会評議委員会

### 3 研修事業

第1回研修会 平成29年4月15日（土）

三重県総合文化センター 大研修室 86名参加  
テーマ：『ケアマネベーシック講座 職業倫理・法の遵守・個人情報保護について』  
講師：福田 雅文 氏（当協会理事 薗野町社会福祉協議会事務局長）

第2回研修会 平成29年5月14日（日）

三重県社会福祉会館 3階 講堂 87名参加  
テーマ：『プログレス記録 S O A Pで記録を書くということ』  
講師：多次 淳一郎 氏（三重県立看護大学地域在宅看護学助教）

第3回研修会 平成29年6月3日（土）

三重県社会福祉会館 3階 講堂 87名参加  
テーマ：『リハビリ用語の基礎知識 情報共有・他職種連携のために』  
講師：木村 圭佑 氏（花の丘病院リハビリテーション科理学療法士）  
講師：山本 泰雄 氏（介護老人保健施設やまゆりの里作業療法士）

第4回研修会 平成29年7月8日（土）

三重県総合文化センター 大研修室 134名参加  
テーマ：介護保険制度改革の動向と自立支援型ケアマネジメント  
(課題整理総括表・評価表の作成と活用)  
講師：阿部 充宏 氏（神奈川県介護支援専門員協会顧問 介護の未来代表）

第5回研修会 平成29年8月19日（土）

三重県社会福祉会館 講堂 70名参加

テーマ：『施設ケアマネジメント研修』

講師：山田 剛 氏（当協会理事 みえ川村老人保健施設設長）

講師：小川 竜司 氏（当協会理事 老人保健施設鈴の丘事務長）

第6回研修会 平成29年9月30日（土）

津市勤労者福祉センター（サン・ワーク津） 135名参加

テーマ『ケアプラン点検』

講師：川添 チエミ 氏（一般財団法人仁風会嵯峨野病院在宅事業部長）

第7回研修会 平成29年10月15日（日）

小山田温泉病院地域交流ホーム 2階ぴあホール 60名参加

テーマ：『在宅医療と在宅看取り～四日市モデルについて～』

講師：石賀 丈士 氏（いしが在宅ケアクリニック 院長）

第8回研修会 平成29年11月18日（土）

ゆめぱりすセンター 大会議室 86名参加

テーマ：『ケアプラン点検と給付の適正化』

講師：阿部 充宏 氏（神奈川県介護支援専門員協会顧問 介護の未来代表）

第9回研修会 平成29年12月16日（土）

四日市じばさん三重 大研修室 51名参加

テーマ：『活動・参加を理解し、自立支援プランに生かす方法』

講師：露木 昭彰 氏

（神奈川県介護支援専門員協会 副理事長）

（足柄リハビリテーションサービス 代表取締役）

第10回研修会 平成30年1月13日（土）

三重県総合文化センター 大研修室 115名参加

テーマ：『高齢者に関わる薬の基礎知識』

講師：西井 政彦 氏（一般社団法人三重県薬剤師会 会長）

第11回研修会 平成30年1月28日（日）

メッセウイング三重 大研修室

テーマ：『在宅リハビリテーション総合研修事業2017

～地域資源の活用～ スキルアップ編②』

※三重県理学療法士会との共同開催

第12回研修会 平成30年2月17日（土）

三重県総合文化センター 視聴覚室 125名参加

テーマ：『介護支援専門員が知っておくべき年金の基礎知識』

講師：山地 雅子 氏（山地EAP社会保険労務士事務所）

第13回研修会 平成30年3月25日（日）

三重県人権センター 多目的ホール 263名参加

テーマ：『平成30年度 診療・介護報酬改定の概要』

講師：島田 晃秀 氏（三重県健康福祉部長寿介護課課長）

講師：倉田 理 氏（一般社団法人三重県介護支援専門員協会 副会長）

※三重県医療ソーシャルワーカー協会との共同開催

平成29年度は月1回程度の頻度で13回の研修会を企画・実施し、延べ1,300名の参加者があった。平成29年度に開催した研修会は、昨年度同様に3月・8月の2回に分けて上半期・下半期の研修案内をまとめて発送した。これにより、会員が計画的に研修参加を検討でき、参加者の増加につながったと判断している。加えて、定期的・継続的な研修会の開催により会員数拡大の一翼を担うこともできたと考えている。

研修会の開催によって、介護支援専門員の資質向上を図るための自己研鑽の機会を提案することができたと評価している。また、主任介護支援専門員の資格更新には職能団体が開催する研修会への参加が要件の1つに含まれおり、その点での役割も担えた判断している。従来、4月～6月の年度当初は研修会空白の時期であったが、新年度より介護支援専門員の業務に就く会員・新規会員に配慮し、この時期に基礎的な研修会を実施できたことは評価されており、今後も継続の必要がある。

昨年度からの課題でもあった、研修会場が津市に一極集中する問題に対し、平成29年度は津市以外の会場にて3回開催することができた。特に、伊賀支部に対する支援を目的に、第8回研修会を「ゆめぽりすセンター」にて実施し86名の参加者に繋がった。

また、平成29年度は他職能団体との共同開催研修が増えており、次年度においても他職能団体等との連携を意識した研修企画を行う必要があると考える。

今後の課題として、研修会によっては、早期に定員に到達する研修会も多く、参加できない会員の存在がある。他にも、研修のキャンセル待ちの会員への連絡が直前になることや、定員超過しているはずの研修会が当日の無断欠席のために結局は定員に満たないことがあるため、改善に向けた仕組みの構築が必要と考える。

#### 4 広報事業

広報誌「みえケアマネ通信」を年2回（Vol.19を9月11日に、Vol.20を3月5日に）発刊した。Vol.19では総会報告及び東海ブロック研修会 in 愛知の開催日をいち早く周知した。見る側の立場に立った情報提供を工夫するという目標に沿って、Vol.20より、文字サイズを大きくし縦書きに変更して読みやすい構成にした。内容では、支部便りコーナーに各支部の会員数と連絡先を表示し、ケアマネコラムとして介護支援専門員合格者数と合格率を示す等、興味を引く情報を取り入れた。

リーフレットについては、昨年度作成分の残りがあったため作成はせず、各支部の研修等で配布を行った。

## 5 総務事業

資質向上研修について、専門研修Ⅰについては、県社協からの業務委託により、4コースすべてにおいて、合計16日分（のべ18人）の講師を派遣した。専門研修Ⅱについては、同様に県社協からの業務委託により、10コースすべてにおいて、合計50日分（のべ57人）の講師を派遣した。

ケアマネジャー総合相談事業（スーパーバイザー派遣事業）については、県内の全ての居宅介護支援事業所と地域包括支援センターに2回にわたって事業の案内を郵送し周知を図った。派遣依頼があった事業所、合計22事業所（居宅12、介護保険施設7、その他3）に対して、のべ42名の派遣を行った。

防災部会の設置等については、準備会合を経て、防災委員会として、総務部会のもとで、正副会長と日本協会の災害支援ケアマネジャー養成研修修了者等により立ち上げた。現在、支部との防災に関する役割分担のあり方の整理を行っている。また、南志支部主催の防災に関する研修会においては、災害支援ケアマネジャーを派遣して、開催支援を行った。

第2号議案

平成29年度収支決算報告及び会計監査報告

正味財産増減計算書

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

	当期金額	前期金額	増減額		摘要
I 正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 入会金収入	134,000	151,000	-17,000	-17,000	新規入会(1,000円×134名)
正会員入会金収入	134,000	151,000	-17,000		
賛助会員入会金収入	0	0			
② 受取会費	9,960,000	9,544,000	416,000	416,000	正会員(8,000円×1,230名)
正会員受取会費	9,840,000	9,424,000	416,000		
賛助会員受取会費	120,000	120,000	0		団体賛助会員(40,000円×3団体)
③ 事業収入					
研修事業収入	1,245,605	2,246,000	-1,000,395	-1,000,395	
研修会収入	1,245,605	1,257,000	-11,395		研修会(13回)
広告料収入		769,000	-769,000		
協賛金収入		220,000	-220,000		
受託費収入	4,465,000	3,690,000	775,000	775,000	
スーパーバイザー派遣事業	1,465,000	1,090,000	375,000		介護支援専門員スーパーバイザー派遣事業・事業所負担金
専門研修	3,000,000	2,600,000	400,000		三重県資質向上研修委託費
物品販売収入	1,026,000	4,013,742	-2,987,742	-2,987,742	
書籍販売収入	1,026,000	4,013,742	-2,987,742		介護報酬改定資料集(380冊)
手数料収入	420,640	310,580	110,060	110,060	
会員管理手数料収入	310,600	257,600	53,000		日本協会事務手数料(正会員200円×1,328名、賛助会員15,000円×3団体)
広告配布手数料収入	110,040	52,980	57,060		広告配布手数料
④ 受取補助金等					
事業補助金収入	450,000	750,000	0		
研修事業補助金収入	450,000	450,000	0		三重県介護サービス提供事業者資質向上事業補助
日本協会ブロック会議		300,000	-300,000		
交付金収入	368,400	354,000	14,400	14,400	
日本協会支部交付金	368,400	354,000	14,400		日本協会支部交付金(H28下期300円×118名、H29上期300円×1,110名)
⑤ 雜収益					
受取利息	32	31	1	1	普通預金利子
雑収入	73,490	21,953	51,537	51,537	資料コピー手数料 FAX送信手数料 書籍斡旋手数料等
受入寄付金	30,000	30,000	0	0	三重県医師会
経常収益計	18,173,167	21,111,306	-2,938,139	-2,938,139	

		当期金額	前期金額	増減額		摘要
(2) 経常費用						
① 事業費						
会議費支出		472,509	564,220	-91,711		
理事会	186,050	269,084	-83,034			理事旅費、会場費等(5回)
理事・支部長会	169,359	63,020	106,339			理事及び支部長旅費、会場費等(2回)
正副会長会	3,900	32,695				旅費等
総務部会	21,060	173,535				旅費等
広報部会	23,960					旅費等
研修部会	17,900					旅費等
災害対策	31,490					旅費等
東海ブロック会議	18,790	25,886				旅費等
研修事業費支出	905,007	2,058,443	-1,153,436			
会員等研修会	905,007	771,958	133,049			会場費、講師謝金・旅費、案内状送付、資料作成費用等
東海ブロック研修		1,286,485	-1,286,485			
助成金支出	899,955	898,544	1,411			
地域支部助成金	599,967	599,072	895			地域支部活動助成金
地域支部研修助成金	299,988	299,472	516			介護サービス提供事業者賃質向上事業補助金
広報活動費支出	419,119	295,570	123,549			
広報誌発行費	182,699	213,598	-30,899			広報誌作成費用(年2回)
ホームページ管理費	74,420	81,972				ホームページ更新費、レンタルサーバー費
その他	162,000		162,000			ホームページ新規作成費用
書籍購入費支出	942,732	3,983,742	-3,041,010			
書籍購入費	942,732	3,983,742	-3,041,010			介護報酬改定資料集
委託事業費支出	3,019,347	2,336,102	683,245			
スーパーバイザー派遣事業	1,067,973	759,702	308,271			謝金、旅費、企画運営費、印刷製本費、通信運搬費等
専門研修	1,951,374	1,576,400	374,974			謝金、旅費、企画運営費、印刷製本費、通信運搬費等
通信運搬費支出	569,514	569,514	352,463	217,051	217,051	ヤマトメール便等
印刷製本費支出	0	0	0	0	0	
日本協会費支出	6,374,000	6,131,000	243,000			
入会金支出	134,000	151,000	-17,000			1,000円×134名
正会員会費支出	6,150,000	5,890,000	260,000			5,000円×1,230名
賛助会費支出	90,000	90,000	0			30,000円×3団体
旅費交通費支出	183,705	183,705	155,530	28,175	28,175	日本協会、関係機関・研修会・会議・打ち合わせ等 参加費用 旅費等
② 管理費						
給料手当	974,530	974,530	1,359,075	1,359,075	-384,545	-384,545 事務局職員雇上げ費用
通勤手当	0	0	4,800	4,800		事務局職員通勤費
福利厚生費	14,565	14,565	11,685	11,685	2,880	2,880 労災、雇用保険等
賃貸借支出	472,687	472,687	461,007	461,007	11,680	11,680 事務所借上げ費用(光熱水費等込)
通信運搬費支出	206,314	206,314	213,599	213,599	-7,285	-7,285 NTT利用料、インターネット利用料等
印刷製本費支出	402,437	402,437	406,386	406,386	-3,949	-3,949 協会封筒印刷費、プリンタ使用料等
消耗品費支出	126,646	126,646	260,139	260,139	-133,493	-133,493 事務用品代等
旅費交通費支出	315	315	3,350	3,350	-3,035	-3,035 事務局職員旅費交通費
手数料支出		175,284		173,394		1,890
集金代行基本手数料	135,432		128,196		7,236	会費引き落とし手数料
振込手数料	39,852		45,198		-5,346	
会議費	49,209	49,209				総会会場費、記念講演講師謝金、旅費等
諸団体関連費支出	56,000	56,000	73,000	73,000	-17,000	-17,000 日本協会全国大会協賛金、社協会費等
減価償却費	0	0	249,666	249,666	-249,666	
顧問報酬費	108,000	108,000				税理士顧問料
雑支出	37,575	37,575	217,361	217,361	-179,786	-179,786 麻吊費、会計ソフト保守費用等
経常費用計		16,409,450		20,209,076		-3,799,626
II 法人税等						
法人税等、住民税及び事業税	124,704	124,704	72,000	72,000	52,704	
当期正味財産増減額		1,639,013	902,230			
正味財産期首残高		2,886,713	1,984,483			
III 正味財産期末残高		4,525,726	2,886,713			

**貸借対照表**  
(平成30年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産		流動負債	
預 金	3,061,249	未 払 金	475,272
現 金	201,700	前 受 金	207,000
未 収 入 金	1,868,105	預 り 金	3,546
前 払 費 用	8,490	負 債 合 計	685,818
固定資産		(純資産の部)	
工具器具備品	249,666	前期繰越収支差額	2,814,713
減価償却累計額	-249,666	当期収支差額	1,639,013
資産合計	5,139,544	純資産合計	4,453,726
		負債・純資産合計	5,139,544

**財産目録**  
(平成30年3月31日現在)

(単位:円)

借方		貸方		
科目	摘要	金額	科目	摘要
預金	百五銀行津駅前支店890756 百五銀行津駅前支店779755	3,053,249 8,000	給与	98,322
現金		201,700	消耗品費	14,245
未収金	研修事業補助金収入 委託費収入 研修事業収入 会費収入 入会金収入	450,000 1,399,000 10,105 8,000 1,000	手数料 未払金 メール便 法人税等 事務局賃借他 会費入会金	5,076 176,405 124,700 44,524 12,000
前払費用		8,490	前受金	207,000
工具器具備品		249,666	源泉所得税	640
減価償却累計額		-249,666	預り金 雇用保険料	2,906
資産合計		5,139,544	純資産	4,453,726
			負債・純資産合計	5,139,544

## 監査報告書

平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の三重県介護支援専門員協会会計の決算報告及び会務につき、関係帳簿及び証拠書類により監査を行った。監査の結果、会計処理及び会務の執行は適正であり、いずれも正確であることを認めました。以上報告いたします。

平成30年 5月 7日

監事

川村智美



監事

舟富祐子



## 平成30年度事業計画（案）

### 1 活動方針

- 1 平成31年度末に会費を納入している会員の数を1,200名以上確保する。そのために、引き続き各種研修会、特に現任者が受講する研修の機会に勧誘活動を行う。
- 2 平成30年度は介護報酬改定と診療報酬改定が重なる「同時改定」の年であり、又、次期改定に向けた検証開始となる極めて重要な年でもある。これらの報酬改定についての情報発信をはじめ、制度に対応する研修会も企画する予定である。また、他の職能団体との連携を図りながら研修会を企画する予定である。平成30年度も月1回程度の頻度で年度内に10回以上の研修会を企画・実施する予定である。詳細は「3研修事業」の通りである。
- 3 広報誌・ホームページ・リーフレット等を活用し、当協会ならびに地域支部の存在意義や活動内容を紹介することで会員間の情報共有を行う。さらに新規入会に向け、より多くの介護支援専門員に活動に対する認識や興味を持つてもらい、会員数を増やすことができるよう広報活動を行なっていく。詳細は「4広報事業」の通りである。
- 4 支部活動の推進と連携をより一層進める。また、支部運営に課題を抱える支部から支援を求められた場合には必要な支援を行う。支援に際しては県協会が中心となり、必要に応じて隣接する支部との連携を促進する。また、各支部と市町との連携についても必要に応じ支援を行う。
- 5 意見交換会や各種研修会等を通じ、三重県の関係部署及び関係諸団体との連携を深める。特に、三重県長寿介護課及び福祉監査課とは継続的に意見交換の場を持ち、一層の連携を図る。これにより、行政及び関係諸団体に当協会県下の介護支援専門員の状況についての理解促進を図る。
- 6 三重県、三重県社会福祉協議会と連携し、介護支援専門員資質向上研修専門研修課程Ⅰ・Ⅱの一部を受託する。それにより、職能団体としての責務を果たし、さらに、当協会に未加入の介護支援専門員にも当協会の存在意義について理解を促し、入会を促進する。なお、当協会に入会することの直接的なメリットとして主任介護支援専門員の資格更新に際しての研修会参加要件や特定事業所加算要件の事例検討等で有利になることも意識してPRを行う。
- 7 三重県に対して、スーパーバイザー派遣事業の補助金申請を進める。ただし、本年度からは補助金の補助率が変わるため、申請に際しては慎重に検討を行う。

- 8 防災部会の設置に向けての体制づくりを進める。そのために、県内各地の防災に関する情報（防災計画や防災訓練、防災に関する情報連携、協力体制、福祉避難所等）の収集を行う。同時に、当協会防災部会設置のための人材の育成も行い、県内で災害が発生した際に協会として対応ができる仕組みを数年以内に整えることを目指す。将来的には県内ののみならず、他都道府県で災害が発生した際に当協会として人員を派遣できることも目指す。

## 2 会議

### 1 総会

(1) 定時総会は定款第4章第16条に基づき、年1回の開催とする。

(2) 臨時総会は定款第4章第16条2に基づき必要に応じ開催する。

### 2 理事会

(1) 理事会は定款第6章第33条に基づき年5回以上開催する。

(2) 理事会は定款第6章第32条(1)～(5)の事項について執行する。

### 3 正副会長会

正副会長会は会長が召集し定期的に開催する。協議事項は、当協会の運営及び事業計画の執行について検討する。

### 4 正副会長及び部会担当者会

正副会長及び部会担当者会は会長が召集し、定期的に開催する。協議事項は、各部会の活動等を協議し、事業計画の執行についての具体的方法について検討する。

### 5 部会

各部会は必要に応じて部会長が召集し、開催する。協議事項は、事業実施上の必要事項について検討する。原則として、担当副会長は参画する。

### 6 理事・支部長会

理事・支部長会は年2回開催する。理事・支部長会は各支部の活動状況の確認、要望や課題等を集約・検討及び県協会と地域支部との連携、その他検討が必要な事項について協議する。

## 3 研修事業

### (活動方針)

平成30年度は介護報酬改定と診療報酬改定が重なる「同時改定」の年であり、また、次期改定に向けた検証開始となる極めて重要な年でもある。これらの報酬改定についての情報発信をはじめ、制度に対応する研修会も企画する予定である。また、当協会では既に三重県理学療法士会・三重県作業療法士会・三重県MSW協会に共催等を頂きながら、研修会を運営しているが、他の職能団体との連携を図りながら研修会を企画することも必要であると考えている。下半期には新たな職能団体との共催で研修会を企画することも検討を進める。また、今年度においても地域支部支援目的とする研修事業への協力も継続し行い、さらに将来的に各支部に配置される「災害支援ケアマネジャー」を養成することを目的とした研修企画も検討していく。

#### (活動内容)

平成30年度上半期に企画されている研修は毎年定期的な開催を予定している基礎を中心とした研修会であり、今年度の会員等の参加状況を考慮しながら、次年度の実施も検討したい。30年度も月1回程度の頻度で年度内に13回程度の研修会を企画・実施する予定である。

研修会の運営については研修部会員が中心となるが、研修会参加者の中から協力等も得ることで、よりスムーズに研修会を運営することを目指したい。また、早期申し込み等も要因と思われる無断欠席に対する対策を検討し、1人でも多くの会員が参加できるように協力をお願いしていく予定である。なお、長期的な観点から日本介護支援専門員協会が提供する受講管理システムの活用を継続して検討する必要がある。

### 4 広報事業

#### (活動方針)

広報誌・ホームページ・リーフレット等を活用し、当協会ならびに地域支部の存在意義や活動内容を紹介することで会員間の情報共有を行う。さらに新規入会に向け、より多くの介護支援専門員に活動に対する認識や興味を持ってもらい、会員数を増やすことができるよう広報活動を行なっていく。

#### (活動内容)

今年度も年2回「みえケアマネ通信」を発刊し、当協会の活動内容及び日本介護支援専門員協会の動向、また各支部の会員数ならびに活動紹介や会員紹介記事等、様々な視点から興味を引く紙面づくりを行っていく。同時に発行部数の検討を行い、配布先を他団体等の関係機関にも広め、協会の活動の周知を図る。

一昨年ホームページがリニューアルしたので、情報を速く手軽に集められるようになった。それに伴い今年は、時代の変化やニーズに応じられるようさらに内容の充実を行っていく。当協会の研修案内のみならず、各支部のコーナーを有意義に活用し、より多くの情報をリアルタイムに提供していく方法を検討する。会員はもちろんのこと非会員や地域住民にも活動情報を提供できるように企画検討していく。

また、リーフレットを介護支援専門員実務研修及び更新研修の際に配布し、当協会の周知と入会の促進を図る。リーフレットの更新については、年1回の予定とせず今後の必要性も含め検討していく。

その他、災害時の情報提供等の役割を防災委員会と連携し、情報の伝達を進めいく。

### 5 総務事業

資質向上研修については、今年度も昨年同様に、三重県、三重県社会福祉協議会と連携し、専門研修課程Ⅰ・Ⅱの一部を担当する。それにより、職能団体としての責務を果たし、さらに、当協会の社会的認知を向上させ、当協会に未加入の介護支援専門員に対し協会の存在意義の理解促進を図ることとする。また、今後、県から直接委託を受ける形での運営を目指して、関係機関と調整を行うこととする。

ケアマネジャー総合相談事業（スーパーバイザー派遣事業）については、これまでには、

利用者負担金を除いた、事業費に対する三重県地域医療介護総合確保基金の補助率が100%であったが、基金の方針により75%程度の補助になる予定である。事業に対して、協会としての持ち出しが求められる形になるため、今後の事業のあり方を検討し継続していく。

防災活動については、災害支援ケアマネジャーを将来的には各支部に1名以上配置ができるように働きかけていきたい。また、防災委員会として、各支部が防災について市町との関係づくりをするための支援を行っていく。さらに、支部が災害対応機上訓練を行う場合に講師の派遣等の調整を行う。

## 6 部会活動

### 1 研修部会

「3研修事業」に掲げた研修事業を実施するために、具体的な研修内容の決定、会場や講師要請等の諸準備を行う。

### 2 広報部会

「4広報事業」に掲げた広報事業を実施するために、広報部会を年2回以上開催し、他部会及び地域支部の協力を得ながら、読み手の立場で必要な情報をより多く提供することを目指していく。

### 3 総務部会

「5総務事業」に掲げた総務事業を実施するために各部会、各支部、行政、関係諸団体と連携を図りながら事業を進める。

第4号議案

平成30年度收支予算（案）

	平成29年度予算額	平成30年度予算額	差異	摘要
I 正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 入会金収入	150,000	100,000	-50,000	新規入会(1,000円×100名)
正会員入会金収入	150,000	100,000	-50,000	新規入会(1,000円×100名)
② 受取会費	9,320,000	10,008,000	688,000	正会員(8,000円×1,241名)
正会員受取会費	9,200,000	9,928,000	728,000	正会員(8,000円×1,241名)
賛助会員受取会費	120,000	80,000	-40,000	団体賛助会員(40,000円×2団体)
③ 事業収入				
研修事業収入	800,000	1,350,000	550,000	研修会(13回)
研修会収入	800,000	1,350,000	550,000	研修会(13回)
広告料収入	0	0	0	
協賛金収入	0	0	0	
スーパーバイザー派遣事業	1,100,000	75,000	-1,025,000	事業所負担金(3,000円×25事業所)
専門研修	3,000,000	3,300,000	300,000	三重県資質向上研修委託費
物品販売収入	0	262,000	262,000	
書籍販売収入	0	262,000	262,000	
手数料収入	330,000	388,200	58,200	
会員管理手数料収入	275,000	278,200	3,200	日本協会事務手数料(正会員200円×1,241名、賛助会員15,000円×2団体)
広告配布手数料収入	55,000	110,000	55,000	広告配布手数料
④ 受取補助金等				
事業補助金収入	450,000	1,586,000	1,136,000	
研修事業補助金	450,000	450,000	0	三重県介護サービス提供事業者資質向上事業補助
スーパーバイザー派遣事業補助金		1,136,000	1,136,000	三重県介護従事者確保事業費補助金
日本協会ブロック会議	0	0	0	
交付金収入	345,000	372,300	27,300	
日本協会支部交付金	345,000	372,300	27,300	日本協会支部交付金(300円×1,241名)
⑤ 雜収益	172,050	75,030	-97,020	
受取利息	50	30	-20	普通預金利子
雑収入	172,000	75,000	-97,000	資料コピー手数料 FAX送信手数料 書籍販売手数料等
経常収益計	15,667,050	17,516,530	1,849,480	

	平成29年度予算額		平成30年度予算額		差異	摘要
(2) 経常費用						
① 事業費						
会議費支出		620,000		720,000	100,000	
理事会	250,000		250,000		0	会場費、理事旅費等(5回)
理事・支部長会	100,000		200,000		100,000	会場費、理事及び支部長旅費(2回)
正副会長会	30,000		30,000		0	理事旅費等
東海ブロック会議	20,000		20,000		0	東海ブロック会議出席者旅費
総務部会	55,000		55,000		0	理事旅費等
広報部会	55,000		55,000		0	理事旅費等
研修部会	55,000		55,000		0	理事旅費等
災害対策	55,000		55,000		0	理事旅費等
研修事業費支出		700,000		1,100,000	400,000	
会員等研修会	700,000		1,100,000		400,000	会場費、講師謝金・旅費、案内状送付、資料作成費用等、スタッフ旅費
東海ブロック研修	0		0		0	
助成金支出		900,000		900,000	0	
地域支部助成金	600,000		600,000		0	地域支部活動助成金
地域支部研修助成金	300,000		300,000		0	介護サービス提供事業者資質向上事業助成金
広報活動費支出		430,000		295,000	-135,000	
広報誌発行費	220,000		220,000		0	広報誌作成費用(年2回)
ホームページ管理費	50,000		75,000		25,000	ホームページ更新費、レンタルサーバー費
その他	160,000		0		-160,000	
書籍購入費支出		0		220,000	220,000	
書籍購入費	0		220,000		220,000	報酬改定資料集、介護報酬の解説
スーパーバイザー派遣事業	700,000	700,000	1,100,000	1,100,000	400,000	スーパーバイザー謝金、旅費、通信運搬費等
専門研修	2,050,000	2,050,000	2,300,000	2,300,000	250,000	講師謝金・旅費 企画運営費等
通信運搬費支出	350,000	350,000	350,000	350,000	0	ヤマトメール便等
印刷製本費支出		0		0	0	
日本協会費支出		5,990,000		6,365,000	375,000	
入会金支出	150,000		100,000		-50,000	1,000円×100名
正会員会費支出	5,750,000		6,205,000		455,000	5,000円×1,241名
賛助会費支出	90,000		60,000		-30,000	30,000円×2団体
旅費交通費支出	200,000	200,000	200,000	200,000	0	日本協会関係会議・関係機関会議・打ち合わせ等 参加費及び旅費等
事業費支出 計		11,940,000		13,550,000	1,610,000	
② 管理費						
給料手当	1,100,000	1,100,000	1,030,000	1,030,000	-70,000	-70,000 事務局職員雇上げ費用
通勤手当	10,000	10,000	0	0	-10,000	-10,000 事務局職員通勤手当
福利厚生費	12,000	12,000	15,000	15,000	3,000	3,000 労災、雇用保険等
賃貸借支出	470,000	470,000	470,000	470,000	0	0 事務所借上げ費用(光熱水費等込)
リース料支出			163,000	163,000	163,000	163,000 コピー機
通信運搬費支出	250,000	250,000	250,000	250,000	0	0 NTT利用料、インターネット利用料等
印刷製本費支出	410,000	410,000	400,000	400,000	-10,000	-10,000 協会封筒印刷費、プリンタ使用料等
消耗品費支出	250,000	250,000	250,000	250,000	0	0 事務用品代
旅費交通費支出	3,000	3,000	3,000	3,000	0	0 事務局職員旅費交通費
手数料支出		175,000		200,000	25,000	
集金代行基本手数料	130,000		150,000		20,000	会費引き落とし手数料
振込手数料	45,000		50,000		5,000	
諸団体関連費支出	75,000	75,000	60,000	60,000	-15,000	-15,000 社協会費等
会議費			200,000	200,000	200,000	200,000 総会開催費用
顧問料			108,000	108,000	108,000	108,000 税理士顧問料
雑支出	220,000	220,000	42,000	42,000	-178,000	-178,000 関係費、会計ソフト保守費用等
予備費	530,050	530,050	500,000	500,000	-30,050	-30,050
管理費支出計		3,505,050		3,691,000	185,950	
経常費用計		15,445,050		17,241,000	1,795,950	
II 法人税等						
法人税等、住民税及び事業税	72,000	72,000	72,000	72,000	0	
当期正味財産増減額		150,000		203,530		
正味財産期首残高		2,814,713		4,525,726		
III 正味財産期末残高		2,964,713		4,729,256	53,530	

第5号議案

監事の選任（交代）について

三重県介護支援専門員協会監事について、監事原田重樹氏より平成30年度総会をもつて辞任の申し出があった。

これを受け、後任の監事について、三重県介護支援専門員協会定款第23条、第24条及び第27条に従い西 勉 氏（御浜町地域包括支援センター）の選任を提案する。